

## 第109回資産運用委員会 議事要旨

1. 日時：令和7年6月16日（月）14：00～15：28
2. 場所：KKRホテル東京 10F 瑞宝
3. 参加者：神野委員長、菅原委員長代理、宇野委員、小野委員、白須委員、  
玉木委員、中嶋委員、林委員

### 4. 議事要旨

#### （1）運用の状況及び運用リスク管理の状況（令和6年度）について

事務局から、厚生年金保険給付積立金及び退職等年金給付積立金の令和6年度の運用状況及び運用リスク管理の状況について説明があり、それぞれの積立金の管理運用の方針に則り運用が行われたこと、適切なリスク管理が行われたことが確認された。

委員からは、以下の意見等があった。

- ・国内債券について、預託金が減少していく中で、他のものでもリターンが得られるよう対応を検討した方がよい。オルタナも考えの一つにあると思うが、オルタナについては、資産クラスだけでなく、不動産の中身、バンクローンの中身といった、中身においても分散化しながら投資を実施すべきである。

- ・外国株式のアクティブ運用について、ある程度は対策済であるが、引き続き改善が必要と思われるため、今後も継続して対策を練ってほしい。

- ・アクティブファンドの選定にあたっては、過去の超過収益率での選定は難しいため、定性評価を重視した選定をされたい。

- ・新3階はキャッシュバランプランであり、基準利率を上回っていればいいところとなりがちなどを、いろいろ工夫しており、受益者にとってプラスになっている。今後も検討を続けていただきたい。

- ・6月13日に年金改革法が成立し、基礎年金の底上げが検討規定として追加された。現段階で具体的対応が必要というわけではないが、今後のKKRのキャッシュフローにも影響するため、リスクとして留意する必要がある。

#### （2）令和6年度 オルタナティブ投資状況について

事務局から、オルタナティブ投資の進め方について説明があった。

委員からは、以下の意見があった。

- ・オルタナに関しては、慎重にやるべきであり、今後オルタナティブ投資の比率を増やしていくにあたり、本当に取るべきリスクなのか、位置づけ、評価の在り方、リスク管理の在り方等、しっかり検討して進めていかれたい。

- ・オルタナについて、いろいろ知見を蓄えて進めているのは正しい方向である。運用環境は日々変わっていくため、流れを見極め、連合会において蓄えられた知見とバランスの取れた、連合会に見合った運用を行っていくべき。

- ・オルタナのスケジュール感について、すぐに増やしていくことは、必ずしもよいわけではないが、上限5%となると、目標どおりにやる必要はないものの、現状のもの以外にも、もう少し増やしてもよいのではないか。

### （３）令和６年度 業務概況書について

事務局から、厚生年金保険給付積立金及び退職等年金給付積立金の令和５年度の業務概況書について説明があり、事務局案に賛同することとされた。

委員からは、以下の確認があった。

- ・トラッキングエラーの変動について及び内部会議体の議論の内容について確認があった。

### （４）令和６年度スチュワードシップ活動の報告について

事務局から、オルタナティブ投資の進め方について説明があった。

以 上